

2026 年 7 月 24 日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2026 年 7 月 24 日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内で推移している。輸出は、下げ止まっている。設備投資は、増加している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

こうした中で、生産は、下げ止まっている。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目		前回	今回
景気判断		一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。
需要項目	公共投資	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
	輸出	弱めの動きとなっている。	下げ止まっている。
	設備投資	増加している。	増加している。
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。
	住宅投資	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
生産		弱含んでいる。	下げ止まっている。
雇用		緩やかに改善している。	緩やかに改善している。

2. 需要項目別動向

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

輸出は、下げ止まっている。

中東向け等が減少する一方、北米向けが増加している。

設備投資は、増加している。

6月短観をみると、2026年度の設備投資計画は前年を上回っている。製造業を中心に、高水準の企業収益を背景として、能力増強投資を行う先が目立つほか、省力化投資や環境関連投資を行う先もみられている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している。

食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて、弱めの動きがみられている。飲食関連等のサービス消費は、横ばい圏内で推移している。乗用車販売は、持ち直している。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

3. 生産

生産は、下げ止まっている。

▽業種別生産動向

鉄鋼	横ばい圏内で推移している。
セメント	弱めの動きとなっている。
化学	弱めの動きとなっている。
住設機器	横ばい圏内で推移している。
電気機械	下げ止まりつつある。
電子部品	緩やかに持ち直している。
自動車	下げ止まっている。

4. 雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、＋１％程度となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、振れを伴いつつ増加している。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回っている。

以 上